

公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

- 事業名：緊急地方道路整備事業
- 路線名又は箇所名：鹿島駅城内線他1線（井手西葉線）
- 事業の概要
 - 工 期：平成10年～平成19年（明許）
 - 事 業 費：約24億円
 - 事業内容：街路整備[現道拡幅]
 - ・ 鹿島駅城内線（さくら通り） L=130.0m、W=16.0m
 - ・ 井手西葉線 L=273.0m、W=20.0m

【公共事業の効果等】

- 交通混雑の解消
- 歩行者・自転車の安全確保
- 良好な都市環境の創出

【事業実施前の状況等】

井手西葉線（国道207号）は鹿島市内を貫通する国道で主要な幹線道路であり、鹿島駅城内線（（主）鹿島嬉野線）との交差点においては右左折の交通処理が困難で、朝夕のラッシュ時には交通渋滞が生じている状況であった。また、井手西葉線はJR長崎本線の肥前鹿島駅の駅前交差点であり、朝夕は鹿島駅城内線も含めて県立鹿島高校や鹿島実業高校の通学生の通学路として利用されている路線であるが、車道2車線の整備のみで歩道整備がなされておらず、自動車と歩行者や自転車が輻輳し、大変危険な状況であった。

【事業実施後の状況や県民の声など】

- ・ 交差点部の車道2車線および右折レーンが確保され、交通処理機能の向上が図られた。
- ・ 肥前鹿島駅の駅前で、県立鹿島高校や鹿島実業高校、鹿島市立西部中学校の通学路となっており、特に交差点部の歩道が整備され、歩行者・自転車の安全が確保された。
- ・ 整備前は幅員が狭く密集した市街地であり、駅、街路整備により、緊急車両の通行等の防災面や土地の利活用について環境改善がみられる。
- ・ 街路樹により沿道を緑化し、景観への配慮をおこなっている。同時に無電柱化を実施し、良好な景観形成が図られている。

（県民の声）

- 交差点の歩道が確保されたことで、朝と夕方には歩行者や自転車の学生が多く、昔に比べたら格段に安全になった。また交差点部が広がったことで見通しも良くなり車もスムーズに流れている。
- 車道に電柱があり接触事故が昔はあったが、歩道ができ無電柱化も整備されて良かった。
- 新しい街づくりを目指して地域住民が一丸となって事業を進められたので、反対者も無くスムーズにできたと思う。
- 2車線および交差点の右折レーンの確保により、自動車の利用が便利になった。
- クリスマスの12月には街路樹にイルミネーションを飾ることで活性化を図っている。今は電飾もLEDになり電気代も安いので一年中イルミネーションを飾っている。
- 8月の鹿島おどりでは、車道を踊り手が歩道を観客が移動するので、混雑が無くスムーズな運営がなされている